



学校だより 令和6年3月号

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校

〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583



【文蔵小ホームページ】

春の訪れ

校長 渡邊 勝利

厳しい寒さも峠を越え、少しずつ春の気配を感じる季節となりました。3月5日は二十四節季の1つである啓蟄(けいちつ)です。啓蟄とは、「冬ごもりをしていた虫たちが土の中から出てくる頃」という意味です。まだまだ寒い時節ではありますが、一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなり、春は確実に手の届くところまで来ています。

さて、2月7日(水)に「文蔵小学校防犯ボランティア連絡会議(防犯ボランティア情報交換会)」が開催されました。6月に引き続き、2回目の開催です。防犯ボランティアの登録者の内訳は、防犯ボランティア53名、110番の家39名、交通指導員1名、計93名です。ボランティアの皆様につきましては、年間に渡り、文蔵地区の安全・安心のために、児童の登下校時の見守りや地区内のパトロール、「子どもひなん所110番の家」登録等、様々な活動を通して、児童ならびに文蔵地区を見守っていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

情報交換会では、ボランティアの皆様から貴重な御意見をいただきました。以下、主なものを紹介します。

- ・見守り体制の維持が高齢化もあり難しくなっている。増員が必要である。
- ・自転車はブルーゾーンを走ってもらいたい。
- ・ポケットに手を入れている児童がいる。
- ・列が縦に長くなってしまふ班がある。高学年(班長)の自覚が必要。
- ・防犯ブザーをいたずらで(間違っ)鳴らしてしまう児童がいる。
- ・信号のない脇道に強引に車が入ってくるケースがある。対応が必要。
- ・あいさつは全体的に良くなっているが、課題もある。「あいさつが来るまで続ける」ことが大切である。
- ・交差点での急な飛び出しをする児童がいる。
- ・信号が青になっても車が来ることがあるので、必ず左右の確認をする。
- ・信号が黄色になったら渡らない。等



多くの皆様に見守られ、文蔵地区の安心・安全は成り立っています。幸いなことに、今年度は大きな事故は現在のところ起きてはいませんが、数多くの心配な事案は報告されています。見守り体制につきましても、高齢化など課題は多くあります。今後も引き続き、皆様との協議を重ね、文蔵地区の安心・安全な見守り体制を構築してまいりますの、御理解と御協力のほど宜しくお願い致します。

令和5年度も残り1か月となりました。6年生は3月22日(金)の卒業証書授与式まで、後14日間の登校です。中学校生活に向けて、希望で胸がいっぱいのことと思います。先日、メジャーリーガーの大谷翔平選手から、3つの野球グローブが届きました。「野球しようぜ！」のメッセージとともに、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」と添えられていました。野球に限らず、子どもたちの夢や目標の実現に向けて力強く応援してくれているように感じました。来年度も教職員一同、子どもたちの夢や目標の実現に向けて、寄り添い、励まし、サポートしていきます。来年度も何卒宜しくお願い申し上げます。